

プロボノ活動報告 ならしの子ども劇場

2025/2/11
ならしのプロボノチャレンジ 2024報告会

活動内容

100点満点でした

課題

事務所閉鎖により、データ管理/共有面で各種課題が顕在化。

活動のゴール

オンラインツールを活用し時代に即した業務スタイルに変革する事で、業務の分散化、効率化を実施し、事務所がなくとも従前と変わらない機能の実現を目指す。

団体からの依頼内容が明確 => 支援作業もスムーズ

依頼内容

【抱えている課題】

事務所の退去により、パソコン内のデータ管理が個人宅での分散管理となり、不便を感じている。

各担当が個別に持つデータを一括管理できず、メールリストでのやり取りが非効率なため、より簡単に共有できる仕組みが必要。

オンラインツールを活用し、業務の分散化と効率化を進め、より多くのメンバーが企画運営に関われる環境を整えたい。

【プロジェクトのなかで支援してほしいこと】

データ管理のクラウド化を進め、理事10名が効率的にデータ共有できるよう支援してほしい。

メンバーが実際にクラウドを活用できるように、研修や講習を実施してもらいたい。

広報誌の編集作業の効率化にも取り組み、Canvaの共同編集活用についてのアドバイスを求めている。

【プロジェクトのめざすところ】

データをクラウドで一元管理し、団体メンバーがスムーズに活用できる環境を整える。

クラウド化により業務の分散化・効率化を実現し、事業の進捗把握をより円滑にしたい。

プロボノ実施内容

計画作成 9月



現状把握 10月



新業務定義 10月



クラウドシステム導入

GWS:Google work space for NPO 10-11月



操作教育、習熟支援 11月-



管理系作業のスキルトランスファー 12月

*参考) 上記依頼に対する、chatGPTの[回答](#)

実施内容&ポイント

計画作成 9月



現状把握 10月



新業務定義 10月



クラウドシステム導入

(GWS:Google work space) 10-11月



操作教育、習熟支援 11月-



管理系作業のスキルトランスファー 12月



新業務定義

- ・GWSを利用した、新しい広報誌編集作業の進め方を検討
- ・Googleドライブでのファイル管理方法を検討

クラウドシステム: Google Workspace for NPOを導入理由

- ・団体の要望を満たせる
- ・NPOは無料で使える(通常、800円/1人/月)
- ・使い方が簡単なので、教育が楽

- ・プロボノメンバーに、GWS導入経験あり
- ・広く使われているシステムなので、困った時に自己解決が出来る
- ・Google広告が月1万ドル無料で使える

なお、選択肢として Microsoft 365 NPOもあったが、googleの方が簡単と(プロボノの独断で)判断

どのシステムにするか?といった部分には時間をさかず、(無料だし)まずは使ってみて、慣れてもらう方針で進行。

ドメインをこのタイミングで取得
ngekijou.org
年間1000円程度

Google のテクノロジーで大きな課題に取り組む

実施内容 & ポイント

計画作成 9月



現状把握 10月



新業務定義 10月



クラウドシステム導入

(GWS:Google work space)

10-11月



操作教育、習熟支援

11月-



管理系作業のスキルトラ

スファ 12月



操作教育

- ・資料作成なし(ググれば沢山出てくるので。作るのめんどいし)
- ・隔週の定例会内で、3人のコアメンバーにだけ操作方法説明。
- ・それ以外の理事に対しては、コアメンバーの方が教育を実施。

まずは使い出してもらい、使いながら出てくる疑問を定例会内で解消。
早い段階(11月頃)からGWS利用を開始したので、今ではすっかりエキスパート

11/28 - 定例

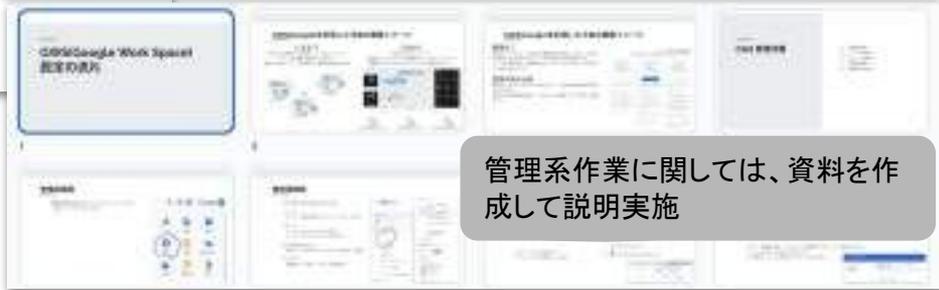
● アジェンダ

- 広報誌作業過程での疑問点や結果について共有
- Pr目的の再確認

■ 現時点の目的達成度評価

- 清岡：ベースは出来た。後は習熟度向上&古いファイルの移行
- 横山：理事全員がGWSを使い出すことが出来ている。
- 菅井：
- なお：思ったよりスムーズに切り替え出来た。変わらずを得ない状況が良かったのでは。
- 小段：同上。広報誌は90てん(もっとサポートしたいので気軽に連絡を)
- まさ：100てん

11/28時点で、プロジェクト目標は概ね達成された



管理系作業に関しては、資料を作成して説明実施

感想

プロボノワーカー

プロボノワーカー

・こたん(初プロボノ)

・なお(3プロボノ)

・まさ(初プロボノ)

小段裕太

- ・35歳
- ・編集者(医書専門出版社)
- ・3児の父(6歳, 4歳, 2歳)
- ・プロボノ暦なし

経験から学んだこと

- ・ちょっと得意なことではダメ
- ・忙しすぎてはダメ
- ・自分のスキルが試される
- ・地域を知るきっかけになる

やれたこと

- ・定例会参加(何度かお休み)
- ・広報誌作成の効率化
- ・ホームページ要素の提案
- ・イベント参加

やれなかったこと

- ・定例会のフル参加
- ・広報誌やHPのデザイン提案
- ・SNSでの投稿内容提案
- ・ワーカー同士の懇親

山本直之(なお)

•プロボノ経験

- ちばプロボノチャレンジ (2021年度)
- 川崎プロボノ部 (2020年度)
- その他川崎プロボノ部運営 (2021年度～現在)

•プロジェクト開始前 (団体ヒヤリング)

- 依頼事項は明確
- ただし、その前に解決した方がよい課題多そう 🙄
- うまく運用できるか 不安 😰

•プロジェクト開始

- 素直に聞いてくれるし、お願いしたことやってくれる 😊
- どんどんスキルアップするぞ 😏

•プロジェクト終了時

- 思っていた以上のレベル感の使いこなしができるように
- やればできるじゃん 😊😊

プロボノ支援中はご協力いただきありがとうございました！

活動しての感想：まさ(初プロボノ)

プロボノを友人や知り合いにどの程度勧めたいと思いますか？



達成感を感じられるかに関して、**不確実性が大きい**

- ・メンバーガチャ要素が強い
- ・団体の活動にそもそも共感出来ない可能性がある
- ・自身が貢献できる役割があるかが、不透明

- ・あれ、、、お金って、もらえないんだっけ？
と、たまに思ってしまう、俗人のワタシ

事前に、団体の活動を十分に理解し、思いに共感し、
(タダでも)貢献したい、貢献できる。と思ってから
エントリーする仕組みであれば、より勧められる。

新しい、**出会い**がある。

新しい、**発見**がある。

感謝を、して貰える。

社会を、より良くしていく事に、間接的に貢献出来る。

とはいえ、インセンティブとしては少し薄い気が。

所属企業内でプロボノ参加が肯定的に評価される雰囲気/制度があると、より多くの人材がプロボノワーカーとなるのでは。

参加企業に対しては、市が何らかの認定を行うなどのインセンティブ設計を行うことで。

プロボノ報告会挨拶

皆様、こんにちは。ならしの子ども劇場の高岡です。この度、プロボノチャレンジに参加し、ITスキルの向上を目指して活動してまいりました。当初はオンラインツールを使ったデータ管理や共有に不安がありましたが、ワーカーの皆様の丁寧なサポートのおかげで、目標を達成することができました。特に、定期的なミーティングでの進捗確認や疑問点への対応、そして「この期日までにこれを使えるように」といった具体的な課題設定は、大変効果的でした。その結果、GoogleWorkSpaceというツールを活用することで、以前とは比べ物にならないほどデータ管理や共有がスムーズになりました。データ管理や共有が進むことで、今までは運営に関わることをためらっていた会員にもハードルが下がるのではと期待しています。今回の活動は、私たちにとって大きな成果となりました。協働政策課、ちば市民活動・市民事業サポートクラブ、そしてワーカーの皆様にご心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

団体メンバー

・高岡(子ども劇場 理事長)